

令和3年度6月補正予算概要

今回の補正予算につきましては、国、県補助金の内示決定に伴うものや新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等への支援など、早急に予算措置が必要となったものを計上いたしました。

まず、中小企業者等への支援につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、事業収入が減少している多様な業種の事業者に対して、事業継続を図ることを目的とした、本市独自の給付金を昨年度に引き続き計上するとともに、資金繰りが悪化している事業者が県の新たな制度融資を活用した際の利子補給金を計上いたしました。

また、コロナ禍の中でも安心してテイクアウトやデリバリーを活用し、家族団らんの時間を過ごしていただくとともに、これら店舗等の積極的な利用を促し、飲食業等の支援に繋げることを目的とした補助制度を創設します。

地場産業や漁業、飲食、宿泊事業者と連携しコロナ禍により落ち込んだ観光需要の回復や地域経済の活性化を図ることを目的とした、体験メニューの企画開発及びモニターツアー実施に係る経費を計上いたしました。

さらに、休業等に伴い収入が減少し、住居を失う恐れのある方に対する住居確保に係る給付金について、本市独自に再支給を行う経費を計上いたしました。

その他補正予算の主な事業として、総務費では、愛発地区において地区住民の集いの場の提供や、コミュニティ活動の展開を予定している団体を支援する経費を計上いたしました。

民生費では、公立保育園の午睡に使用している部屋にモニターカメラを設置する経費を計上いたしました。

土木費では、国庫補助金の内示に合わせ、市道三島港線の道路改良工事費や新幹線駅周辺の道路整備に係る工事費を、教育費では角鹿小中学校の駐車場整備に係る工事費を計上いたしました。

特別会計では、産業団地整備事業特別会計において、分譲事業者決定に伴い、分譲地売払収入による県借入金の償還金を計上いたしました。

これらの結果、今回の補正予算額は、一般会計が
11億3,562万5千円、特別会計が5億2,001万6千円となり、補正
予算総額で16億5,564万1千円の規模となりました。

補正後の予算額を前年同期と比較いたしますと、一般会計が24.8%の
減、特別会計が6.0%の増、企業会計が1.9%の減で、予算総額では
14.2%の減となりました。

今回の補正予算の詳細は、別紙お手元に配布いたしたとおりであります。
以上が今回の補正予算の概要でございます。